

帰国子女・社会人入試 小論文問題

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子を開かないこと。
- 2 この問題冊子は、この表紙を含めて3ページです。
- 3 問題の「問1」、「問2」すべてに解答すること。
- 4 解答用紙は全部で2枚、下書き用紙が全部で2枚あります。
- 5 解答は解答用紙に横書きとし、句読点及び段落の字下げ、改行によって生じた空白も字数に含め、指定された字数内にまとめること。
- 6 受験番号は、解答用紙の指定欄に記入すること。
- 7 解答用紙2枚を提出し、問題冊子・下書き用紙は、試験終了後持ち帰ること。なお、いかなる理由があっても解答用紙以外は受理しません。
- 8 試験中に、問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等により交換を必要とする場合は、手を挙げて監督者に知らせること。

問題 次の文章を読んで、後の二つの問いに答えなさい。

そもそも日本の子どもたちは、世界の子どもたちと比べて健康で幸福なのだろうか。ユニセフのレポート（2007）によると、日本は OECD 加盟 25 カ国のうち「子どもの健康と安全」では平均を下回っており、教育や文化的なリソースの充足を調べた「子どもの物質的不足（material deprivation）」の比較では、世界的に最も経済的に豊かなはずの日本がポーランドに次ぎ最下位であった。逆に、「心地悪く、居場所がない（I feel awkward and out of place.）」「孤独で、さみしい（lonely）」と感じている 15 歳の子どもは、29 カ国中で突出して高い割合である。日本の経済発展が、子どもたちの健康・安全と幸福に十分に寄与してこなかったことを明確に示している。さらに、日本において社会経済的に恵まれない状況におかれている子どもたちは、よりいっそう深刻な状態にあるのではないかと危惧される。なお、これらに関しては、日本の子どもの健康や wellbeing¹⁾、貧困に関して国際的に比較しうるデータが乏しいのも、深刻な問題である。（出典 A より。）

・・・

子どもの貧困が大きな社会問題となっているのは、それが子どもの不利と関連するからである。リスター²⁾は、経済的要因による物質的欠如とそれによる関係的・象徴的側面の欠如によって引き起こされる不利について、軽視・屈辱・恥辱・スティグマ³⁾・尊厳や自己評価への攻撃・〈他者化〉・人権の否定・シティズンシップ⁴⁾の縮小・声を欠くこと・無力から説明する。これらを整理すると、子どもの貧困において問題なのは、物質的欠如が、子どものスティグマとして焼き付くと、屈辱や恥辱となって現れること、それが子どものネガティブな自己イメージや無力化を招き、子どものシティズンシップや声を奪ってしまうこと、そしてそれらの帰結として子どもの人権の否定を生じさせることである。日本でも、経済的貧困の子どもへの多面的影響が明らかとなっている。貧困世帯の子どもと低学力・低学歴との関連や貧困状態が子どもの身体に与えるネガティブな影響が指摘される。（出典 B より。）

・・・

経済格差の拡大という社会現象は、地域や家族における経済状態を通して、典型的には貧困の問題によってであるが、子どもの幸福、学習・学力、就労やキャリア、健康にも影響を及ぼしているに違いない。これまで十分に注意が払われてこなかった「子どもの貧困」による問題が、やっと最近になって再びクローズアップされ、「子どもの貧困の再発見」と言われ、このテーマに関する出版物も増えている。

さて、経済的な困窮という問題は、栄養・食生活、地域資源へのアクセス、雇用、家族や保護者のストレス等の問題、地域環境の劣化、近隣のモラル・規範の低下などを介して、恵まれない社会経済的環境下の子ども達の成長と発達に影響を及ぼすと考えられる。とりわけ、現代の子どもたちの大きな問題である、生活習慣の乱れ、いじめ、不登校、児童虐待、暴力、自殺、抑うつなどの課題は、単に子ども個人の問題ではなく、彼らの背後の家庭や社会の環境と密接な関連があり、そこへのアプローチが重要だと考えられる。（出典 A より。）

註

- 1) 幸福で、肉体的、精神的、社会的すべてにおいて満たされた状態
- 2) イギリスの貧困研究・社会政策研究を代表する研究者の一人
- 3) 汚名、負の印
- 4) 市民としての身分、市民権

出典

- A) 朝倉隆司, ソーシャル・キャピタルは子どもの健康格差を緩和する鍵となるか, 学術の動向 15 巻 4 号, 学術の動向編集委員会, 2010 年. (一部改変)
- B) 原清治ほか, 『教育社会学 (新しい教職教育講座 教職教育編 3)』, ミネルヴァ書房, 2020 年. (一部改変)

問1 貧困は子どもにどのような影響を及ぼすか. 文章の内容に基づいて **300** 字以上 **400** 字以内で述べなさい (40 点).

問2 健康とは、単に疾病や虚弱でないことではないと定義されることから、健康格差は様々な社会的な原因から生じると考えられる。従来の研究で、子どもの健康格差は食習慣・運動習慣・予防接種・むし歯などとの関係が明らかにされている。健康格差の拡大が子どもの生涯へ及ぼす影響や問題点として、どのようなことが考えられるか。また、それに対して、あなたは教師としてどのように対応するか。**600** 字以上 **800** 字以内であなたの考えを述べなさい (60 点).